



ひ た よ ろ う た ん

第1回定例会..... 2

3月5日から18日までの14日間

平成31年度予算を議決

第1回臨時会..... 9

議員研修報告.....10

一般質問 ここが聞きたい（8人）.....12

町のこの人あのひと.....16

陶芸の魅力、楽しさを

ふれあいを大切に

たに み え こ
谷 美恵子さん



元気いっぱい！1年生

E-mail gikai@town.oi.kanagawa.jp / URL <http://www.town.oi.kanagawa.jp/gikai/>

この広報は、再生紙を使用しています。

大型予算を議決

18歳まで拡充、学校・幼稚園に空調を整備

平成31年度当初予算

一般会計	59億2,000万円
国民健康保険特別会計	16億円
後期高齢者医療特別会計	2億3,000万円
下水道事業特別会計	5億1,300万円
介護保険特別会計	11億4,400万円
水道事業会計	6億4,400万円
合 計	100億5,100万円

平成31年第1回定例会は3月5日から18日までの14日間を会期として開催され、条例や人事案件をはじめ、一般会計予算、特別会計予算及び水道事業会計予算の補正予算や平成31年度当初予算を審議しました。

初日は、町長から施政方針が示され、
・おいきらめきプランの着実な推進

・「今後の発展を見据えた」施策・事業の展開
・「集中」の精神
・協働のまちづくり
・財政の安定
の5つの視点に重点を置いた予算の編成の考え方と事業の概要が述べられました。

また、2日間にわたり行財政全般に及ぶ一般質問を8人が行い、町の考えを質しました。



上：大井小学校北棟改修工事
2億500万円
下：道水路改良工事
3か所 総額 4,500万円
写真は、町道391号線（湘光道路）



平成31年度のまちづくり事業

議会では、2月20日（水）に新年度に予定されている工事箇所の内、6件の現地視察を実施し、町担当者から説明を受けました。



上：相模金子駅前公園トイレ建設工事
1,535万6千円
下：山田総合グラウンド駐車場
舗装工事 2,813万8千円



総額100億円超の 大井小学校改修工事始まる、小児医療費

予算審査ダイジェスト

施政方針

- 問** 再生可能エネルギー地産地消推進事業を平成31年6月から行いたい趣旨の報告があつたが、施政方針に記載がない理由は。
- 答** 金額面で課題あり仕切り直しの状況。再度検討する。
- 問** 相和幼稚園において特色ある教育とは何か。
- 答** 町内全域の通園、早朝、延長保育、給食などが特色。
- 問** マイナナンバーカードの発行率とコンビニ交付での利用者見込みは。
- 答** 1月末現在の発行で12・23%、利用については700通を想定している。
- 問** 町長の公約の中でどういったものが予算編成

されたか。

答 特に盛り込んでないが様々な事業の中で私の思いは反映されている。

問 町づくりワークショップの最終目標は。

答 町民が行動を起こし実行すること。

問 産業立地について企業誘致は必要。別の角度から検討しては。

答 まずはビオトピアへの企業誘致に集中したい。

問 町道501号の事業の状況は。

答 平成31年度は用地買収する。買収は2年計画

問 骨髄移植ドナー支援の内容は。

答 県が支援を実施。町に協力要請があつた。町就労補償として1日2万円（7日間）、休暇制度のない事業所にも補償する。

一般会計

歳入全般

問 町債を起こすに当たり、繰入金を入れる考えはなかったのか。

答 事業ごとに有利な起債を借り入れることにより、繰入金小さくなっている。

問 法人数が増加しているが、動向をどの様に認識しているか。

答 移転、倒産、企業の撤退などで増減がある。見通しは難しい。

問 撤退している企業の均等割は当初予算に含まれているのか。

答 申告により入っている。

問 旧3級品以外のたばこは、平成31年度では増税にならないのか。

答 10月に消費税の増税が見込まれているので、平成31年度の増税は見送られる。

問 加熱式たばこは旧3級品以外と税率が同じか。

答 現行は葉の量が少ないため税率が低い。

問 固定資産税に係る償却資産の所有者は何社あるのか。

答 申告により課税対象になっている会社は、246社。

問 保育料について国は10月から無償化を掲げているが予算に反映しているか。

答 国は10月から無償化を掲げているが予算に反映しているか。

答 詳細については未定のため反映していない。

問 ふるさと納税の積算根拠は。

答 国の指導に従いつつ、期待を込めて5,000万円にした。

問 普通地方交付税について、防災行政無線デジタル化事業が交付税の対象になると聞いているが見込んでいますか。

答 今までの実績から4億円計上した。起債の発行額が、平成32年度以降に算入される。

問 キャラクターグッズ収入とは。

答 各種イベントでのすいっぴーグッズの売り上げ。今後、通年販売を考えている。

問 保健福祉センター施設利用収入は雑入で良いのか。

答 相手方と契約をして徴収している。今後、科目は検討する。



通年販売される
すいっぴーグッズ

問 特例交付金の今後の推移は。

答 住宅が増えていることから今後も増えていくと予想する。

問 平成29年度以降、個人住民税の所得割の課税基礎額が増えてきているが、一人あたりの額が減少している。町はどのように分析しているか。

答 納税義務者数が増えてきているため一人当たりは減る傾向にある。一人の傾向より全体を注視している。

歳出全般

問 交流体験事業法人※1の出捐金を支出するに当たり、法人設立の選択には、一般社団法人、NPO、株式会社等があるが、一般社団法人にした理由は。

答 事業目的に制限がなく、広域、収益事業が可能で設立も2名以上いれば出来るため。

問 法人を平成30年度中に設立する理由は。

答 地方創生、農山漁村振興交付金を活用し、2、3年後の修学旅行受入れに対応するため。

問 未設立法人に対し2、000万円の貴重な税金を一度で投入するのではなく、まずは半分で行う考えはあるのか。

答 単年度での支出も検討した。話し合いを重ねた結果として、町全体、近隣の連携を考えた上での3年間（計画）の運営資金である。

問 法人設立後のリスク、トラブルに対しての対策は。

答 今後、整理していく。

問 交流体験事業法人出捐金について、町は法人にどのように関わっているのか。

答 法人に理事会を設置する予定。理事会には監事が必要であり副町長が就任予定。監事は運営全般に関与できる。

問 今後、（※2）NEALリーダーの育成は。

答 人材育成は町で毎年行い、若い人から高齢者までの幅広い年齢層の知恵を取入れる考えだ。

問 農家の方たちの所得を増やすための法人ではないのか。

答 地域の人たちへの所得向上で、法人にお金が出りるのではなく地域の人たちにお金が出る仕組みである。

問 交流体験事業プラットフォームシニアアップ委託料の内容は。

答 今回のメニューでは大勢を受け入れられない。

で新しいメニュー作成を委託する。

※1 当事者の一方がその意思に基づいて財産上の損失をすることにより、他方を利得させることをいう。地方行政の分野においては、一般社団法人に対する基金の拠出等がこれにあたる。

この場合、地方公共団体の権利は、公有財産の一種である「出資による権利」となる。

※2 自然体験活動指導者のことをいう。

問 県操法大会用ホース購入に吸管ホースの購入も含まれているのか。

答 含まれていない。



交流体験事業（苔玉作り）

問 防災士資格取得の支援内容は。

答 登録料、テキスト代等で11名を見込んでいる。

問 火葬料補助金は6月末までか。

答 新しい小田原市斎場が供用開始をしたら、補助金は廃止する。

問 ひょうたん祭実行委員会補助金の内訳と協賛金の収入は。

答 事務局費、事業費、運営費で算出している。予想がつかないため協賛金は見込んでいない。

問 手話通訳者等派遣のなかに代読代筆は含まれているのか。

答 含まれていない。今後検討する。

問 会計年度任用職員制度例規集委託の内容は。

答 非常勤職員が平成32年度から「会計年度任用職員」となる。

今後は条例等で定める必要があるため委託する。

問 都市計画道路施工ヤード地買収費の単価については路線価か、不動産鑑定価格を使うのか。借地では対応できないのか。

答 単価は不動産鑑定を行い、県と協議する予定。借地に関しても検討したが地権者との交渉で買収する事になった。

問 公共施設等個別施設計画委託の内容は。

答 平成32年度末までに個々の施設の改修等の計画を定める。自治会館も対象となる。

問 ラインスタンプ制作委託料の内容は。

答 すいっぴーのラインスタンプ40種類を制作する。1シート120円ほどで販売予定。

問 社協補助金（移送サービ）の内容と経緯は。

答 移送サービスの利用が増えている。保険、講習会ボランティア費用として補助。

第1回定例会

問 教育施設長寿命化計画策定について、計画の見直しはどのぐらいの期間で行うのか。

答 教育施設長寿命化計画策定について、計画の見直しはどのぐらいの期間で行うのか。

問 空き店舗補助金の積算根拠、空き店舗数は、上限5万円、6か月間の賃料補助。店舗数は調査できていない。



情報モラル教育の授業風景

答 小中学校においては改修済みの施設もあるが、中期的には10年、長期的には40年で考えている。予算の平準化も見据えて計画していく。

問 町民体育大会は今後も継続していくのか。

答 継続していく。体の不自由な方も参加できるなど、やり方の再検討も必要。

問 情報モラル教育の対象と調査内容は、

答 中学生、小学生は高学年で、保護者と教師も対象。内容は、スマホの使用時間や使用したことがあるアプリなどを調査。

特別会計

国民健康保険

問 現在の収納率及び次年度の収納率見込みは。

答 直近の平成29年度では、94・34%で平成31年度は93%で考えている。

問 基金積立金が1億円以上あるが、今後の使用目的は。

答 保険税を改正した時、補填等に充てたいと考えている。

問 特定検診の診察料を無料にするようだが、対象者数と見込み数値は。

答 対象者は3千人で受診率は33%を目指す。

問 被保険者数は減っているが、医療費の見込みが高くなっているのは。

答 医療費は県内で一番低い状況だが、今後高くなっていくことが予想される。

問 賦課徴収費に電話料

が新規計上されているが。

答 自動音声催告システムを導入したことによるものであり、催告件数は475件、電話後の納付額は200万円ほどだが、電話催告によるものかは不明。

問 無診療世帯報償金制度の周知はできているか、また報償金の内容は。

答 特段周知していない、内容は町内施設で使える商品券を贈っている。

問 財政調整基金繰入金とは旧資産割の補填だが、どのぐらいの割合を入れているのか。また基金残高は。

答 4分の3。年度末の基金残高は3億9千3百万円。

問 県の運営制度になったが、町の運営協議会の必要性は。

答 現状統一保険料ではなく町の独自性もあり、必要である。

後期高齢者医療

問 今後保険料は上がっていくのか。

答 県統一保険料で町が意見を言える立場でないが、保険料は増加傾向にある。

問 町情報システム負担金が増額しているが。

答 システムの業者が変更となり、封入作業等の金額も含まれるようになったため。経費全体では、減額となっている。

問 滞納繰越金が倍以上になっているが。

答 予算編成時には35万円の滞納があったが、現時点では2万円ほどまでになっている。

問 保険基盤安定繰入金の軽減割合の算定は。

答 各軽減割合の合計は、2,824万円で前年度より多く見積もっている。

予算審査特別委員会

平成31年度予算審査にあたっては、本会議の審査審議において、議長発議により特別委員会が設置され、企画経済・教育福祉常任委員会よりそれぞれ4人を選出し、合計8人の委員会が組織され、3月13日・14日の2日間にわたり詳細な審査を行った。



委員長	牧野 一仁
副委員長	清水 豊司
委員	石井 勲
委員	北村 正夫
委員	曾根田 徹
委員	伊藤 奈穂子
委員	熊田 和人
委員	田村 俊二

下水道事業



お〜い元気会の活動風景
(上大井自治会館)

問 平成32年4月に企業会計化へ向け準備を進めているのか。

答 進めている。9月議会までに、条例改正を予定している。

問 企業会計システムは水道企業会計と同様か。

答 基本的には同じ。昨年度コスト削減を図るために水道会計に導入しており、下水道も相乗りする形でシステムを構築する。

問 公営企業化に伴う委託の内容は。

答 システムの移行や固定資産台帳の更新などの業務。

問 下水道使用料の収納率と未接続件数は。

答 平成29年度の収納率は99・72%で未接続件数は275件。

問 マンホールカードは何枚増刷するのか。また配布者の状況は。

答 4千枚を予定している。現時点で3,572枚配布済みで、県内外はもとより海外の方もいた。

介護保険

問 保険者機能強化交付金の内容は。

答 平成29年の法改正により、高齢者自立支援や重度化防止の取組みに対して交付されるもの。

問 居宅介護サービスや地域密着型などの予算立ての考え方は。

答 決算見込みで予算計上している。各サービス費については予想しづらい、特に地域密着型については近年廃業する業者がある。

問 平成32年度は保険料改定の年だが、保険料は上がるのか。

答 増額要因として、高齢者の人口は増えている。平成32年度の保険料の見込みとしては基金の活用をふまえて考えていく。

問 介護認定者数が計画より多くなっているが、給付費は減となる要因は。

答 98%ぐらいは計画通り

りになっている。認定者数とのバランスについては、比例するとは一概に言えない。

水道事業会計

問 予定している漏水調査の場所と範囲、時期は。

答 金手地区と河原地区で範囲は18km。時期については秋に予定している。

問 流動資産の未収金が増えている理由は。

答 水道料金の収益が1か月のずれがある。加えて改良工事の消費税が多く、この税の還付金の未収のため。

問 補てん財源としての減債積立金は確保できているのか。

答 確保できている。平成29年度利益剰余金の処分により、5千万円を減債積立金として積立している。

議案第20号

平成31年度

大井町一般会計予算に対する付帯決議

- 交流体験事業法人出損金については、売れる交流体験事業の構築を目指す組織に対し予算措置がされた。
しかしながら、法人設立前に議案が上程されたこと。また、審議開始後に支出科目が訂正されたことは、議会として誠に遺憾である。
今後、斯様な行為がなきよう強く自省を求めるとともに、次の事項について対処されたい。
(1)法人の運営状況等について注視し、議会に報告すること。
(2)法人が早期に自立できるよう然るべき指導・支援を行うこと。
- 区画整理事業について、事業の計画変更の際には、議会に報告すること。

平成31年度一般会計予算 討 論

2人の議員が反対・賛成の立場から意見表明を行った。

反対討論

町民に負担させる政策に反対

曾根田 徹

町は、景気は緩やかに回復基調にあると言っているが、平成31年度の町税は個人の対象者は増えるとしているが、税収は前年度と同じ見込みで、法人では企業は増加をしているが減額計上で回復基調にあるとは言えない。

この3月に法人設立に向けて動いている事業がある。町はこの法人設立に対し支出する考えを示したが、交流体験事業法人設立補助金の名称に問題が生じ、出捐金として修正しなければいけない事態が生じた事、多くの議員から質疑がされたが、町側の回答を聞いても、現在、行っている活動内容の説明や対策など話されたが、課題や不安を取り除けるだけの説明ではないと考える。年度別収支推移や組織の自立に向けた民泊・体験プログラムに係る指標の資料を見ても目標だけで、町は実施計画を作成し、年間スケジュール等の詳細を出していないことや法人に対してどの様に監督を行っていくかを明確にしていないことに対して納得はできない。

小田原市斎場維持管理費運営委託料を支出することには反対はしないが、火葬料に対し補助金交付規則で、1体3万8千円以内の火葬料補助を止めて、7月の供用開始から小田原市斎場を利用する時に1万2千円を町民に負担させることに納得はできない。7月の供用開始以降も町は補助をすべきである。以上の点から私の反対討論とする。

賛成討論

安心安全なまちづくりに期待

伊藤 奈穂子

平成31年度の一般会計予算額は歳入歳出それぞれ59億2000万円、前年に比べ3億1000万円、率にして5.5%の増となる予算編成となった。

歳入については、固定資産税、軽自動車税は増額を見込んだものの企業の撤退等により、町民税法人分は減額計上となった。厳しい財政状況のなか事業等に必要なる財源については基金の繰り入れや町債の発行により堅実な予算編成だと感じる。

歳出では「大井小学校の北棟改修工事」、翌年に予定している「南棟改修工事」の基本・実施計画、大井保育園では土曜日を1日保育とする事や、小児医療費の助成対象年齢を「18歳まで」に拡充することなど教育環境の整備や子ども達の健全育成、子育て支援の取り組みを高く評価する。

また、施設健診の中に「胃がん内視鏡検診」の導入は一定の効果があると大いに期待している。さらに、防災行政無線のデジタル化整備事業をはじめ、防災士の育成、防犯対策として、引き続き街頭防犯カメラを設置することは町民への安心安全の取り組みである。

この他に、ひょうたん祭りの開催や平成31年度に60回を迎える産業祭り、交流体験事業など大井町の魅力を再認識することにより更なる発展が期待できると確信する。一方で交流体験事業の法人化に関する事は、相和地域、町の今後に影響があると考え早期自立に向けしっかり取り組んでいただくことを強くお願いし賛成討論とする。

条例

大井町議会委員会条例の一部を改正する条例について

(賛成全員)

* 常任委員の辞任に関する規定を整備する必要があるため、所要の改正をするもの。

大井町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例について

(賛成多数)



町道391号線に道路認定された
(仮称) 新湘光公園内道路

* 働き方改革を推進するための関係法律の整備に関する法律の改正により、所要の改正をするもの。

問 大井町は時間外勤務時間の上限を規定していないがなぜか。

答 県の人事委員会に委任しているその規則による。

大井町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について

(賛成多数)

* 国民の祝日に関する法律の改正により所要に改

正をするもの。職員の勤務時間当たりの給与額の算定方法等の基準となる。

問 平成28年に「山の旦」が制定されたがなぜその時に改正しなかったのか。
答 制定時、県等の指導が徹底されてなく多くの自治体が対応していなかった。今回改正する。

大井町水道事業の布設工事監督者及び水道技術管理者の資格等に関する条例の一部を改正する条例について

(賛成全員)

* 学校教育法の改正により、大学制度の中に専門職大学が創設されたことに伴い、布設工事監督者及び水道技術管理者の資格要件について改正を行うもの。

大井町の路線の廃止及び認定について

(賛成全員)

* 県道秦野大井のバイパス開通に伴う認定町道の

廃止及び寄付行為を受けた開発道路等の路線を認定するもの。

問 町道391号線湘光中より上大井小まで認定するところがあるが、公園内の道路認定について地元へ説明したか。
答 大手法人より寄贈を受けたので町道認定し舗装工事を行う。地元への説明はした。児童の安全の話が出た。警察とも相談して結果を地元の説明する。

補正予算

一般会計

(第7号)(賛成全員)

* 年度末により歳入は国・県の支出金の確定、歳出については事業費の確定により補正するもの。

問 地域水源林整備事業費が当初予算では1,500万円だが500万円

で事業が出来たことは、当初予算の見積もりが甘いのではないか。

答 県の森林整備基準で積算している。この基準で積算しないと補助がもらえない。

問 防災行政無線(同報系)デジタル化設計委託料、約900万円の予算が100万円で落札された理由は。

答 低入札であるのは認識している。落札業者に確認したところ、会社の経営戦略を踏まえて落札したとのこと。結果も確認したが仕様通りであり問題はなかった。予算編成に当たっては数社より見積もりを取って行った。

問 町老人クラブ補助金が減額補正されているが内容は。

答 全体の会員数の減少により補助金額が減少。7クラブあるうち2クラブで余剰金があることから補助金を辞退した。

一般会計

(第8号)(賛成全員)

* 国より大井小学校北棟冷房設備対応臨時特例交付金の内示があったため歳入、歳出を補正する。



デジタル化が図られる
防災行政無線

第1回定例会・第1回臨時会

国民健康保険

(第4号) (賛成全員)

＊本年度最終予算補正であり、歳入については国民健康保険税の収入見込み額や県交付金の見込み額計上、歳出については保険給付費の実績にもとづく減額を計上。

問 人間ドック助成は町独自の補助か。

答 町独自である。特定健診受診の数が上がれば、努力支援制度での助成がある。

問 300人分の予算で、半分の実績は見込みが多かったのではないか。

答 近隣市町のドック受診者数が約6%なのでその数字を参考にした。

後期高齢者医療

(第2号) (賛成全員)

＊県が負担する保険基盤安定繰入金、その他の額の確定による補正。

下水道事業

(第3号) (賛成全員)

＊歳入は国庫補助金及び流域下水道建設事業負担金の清算金他、歳出は流域下水道管理費、地方公営企業法適用業務委託料執行残を計上。

介護保険

(第5号) (賛成全員)

＊歳入については国・県の負担額、補助金等の変更決定に伴う増減、歳出については保険給付費の見込み額、地域支援事業費の増減。

水道事業

(第4号) (賛成全員)

＊水道事業会計の収益的収入、支出の予定額の補正、当年度分損益勘定保留資金及び繰越し利益剰余金処分額等の変更。



人事

大井町固定資産評価審査委員会委員の選任について同意を求めること

(賛成全員)

＊任期満了に伴い後任を選任。

瀬戸 浩一 氏
(新任 山田)

問 議案が当日配布であるが、今後事前に配布する考えはあるか。

答 開示が基本と思うが、今後検討する。



改修工事が始まる大井小学校

工事請負契約の締結

大井小学校北棟空調設備設置工事

(賛成全員)

＊大井小学校北棟空調設備設置工事の入札執行結果の承認。

町立幼稚園・相和小学校空調設備設置工事

(賛成全員)

＊町立幼稚園・相和小学校空調設備設置工事の入札執行結果の承認。

問 入札後落札者が辞退したとのことだが、その

業者にペナルティを課すのか。

答 前例等を調査し、検討する。

第1回臨時会

平成31年1月18日に開催され、1件の条例改正とこの改正に伴う補正予算5件を審議し、すべて賛成全員で可決しました。

条例

大井町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

＊人事院勧告に伴う国家公務員の給与改正に伴い改正を行うもの。

補正予算

一般会計 (第6号)

＊給与費の増減を計上するとともに、幼稚園及び小学校の空調設備設置に係る工事費など緊急性のある事業を計上。

問 ふるさと納税の返礼品について、1月1日時点で3割を超えないのか。

答 大井町では、3割以下で全て地場産品である。

問 学校関係の空調設備設置について、現在使われていない教室も整備対象となるのか。

答 普通教室か特別教室で判断が出てくるが、概ね設置される。

国民健康保険 (第3号)

下水道事業 (第2号)

介護保険 (第4号)

水道事業 (第3号)

＊以上4会計は、給与改定及び人事異動に伴う給与費を補正するもの。

訂正

議会だより第198号3ページ「選挙」の南足柄市外四ヶ市町組合議員任期満了日に誤りがありました。お詫びして訂正いたします。
(誤) 平成30年2月6日
(正) 平成31年2月6日

議員研修報告

演題

「自治基本条例と議会基本条例について」

講師

神奈川県町村議会議長会参事

沼田 卓 氏

平成31年2月19日、
「議会活動の充実に資する知識取得」を目的とした足柄上郡町村議会議長会主催の議員研修会に参加した。議長会参事の沼田卓氏を講師にお招きし、「自治基本条例と議会基本条例について」のテーマでお話戴いた。大井町でも制定しているが「自治基本条例」と住民請求権である「住民投票」についてである。地方自治体は首長と議会議員を選挙で選ぶ「二元代表制」を採っている。両者とも住民の代表者である。別の言い方をすれば、町政



できる「直接民主主義」による町政への参加方法であり、地方自治法74条に規定された「住民請求権」である。有権者数の50分の1の連署で条例の制定または改廃が請求できる制度である。今迄は間接民主主義の補完をするものとしての位置付けであったが、最近は直接請求権としてよく使われ始めている傾向にある。次に最近の議会と住民参加の動向と言う切り口での講義があった。

『議会基本条例』が制定されて十数年経過したが、議会改革と併せて見直しの動きが出て来た。議会は、意思決定するだけでなく、住民例えは自治会やボランティア組織との関わりが重要になって来ている。議会制間接民主主義を採る中で、民意が反映されない状況であれば、住民による直接民主主義としての『住民投票』が横行する様になる。それでは議会の存在意義がなく、「議員不要論」が唱えられるだろう。在り得ない事だが、案件によつては増加が予想される。議会と住民との「距離感」を縮める事が大切であろう。大井町議会では議会報告会の実施を計画している。一定のテーマを決め、地域住民と討論する事も併せ検討している。今回の研修で自治基本条例・議会基本条例と住民投票について学ぶ事ができた。大井町議会基本条例3条の2項で「議員の活動原則」について規定しているが、私達議員は町民の負託に応える為にも日頃の研鑽に努めなくてはならない。

田中 正彦

お知らせ 議会報告会・意見交換会

多くの皆様のご来場をお待ちしています。

期 日	時 間	場 所
5月15日（水）	19：00～20：30	かながわ西湘農協大井支店
5月16日（木）	19：00～20：30	そうわ会館
5月17日（金）	10：00～11：30	生涯学習センター
	19：00～20：30	西大井自治会館

審議結果

審議した議案と審議結果

○は賛成 ×は反対
 —は採決に加わらなかった議員
 細田勝治議長は、採決に加わりません。

臨時会の別	定例会・ 臨時会	議案 番号	議員名（議席順）と 審議結果	議 案 名											審議 結果	
				鈴木 磯美	田中 正彦	神保 京子	田村 俊二	牧野 一仁	熊田 和人	清水 亜樹	伊藤 奈穂子	曾根 田徹	瀬戸 和雄	北村 正夫		清水 豊司
第1回臨時会	1	大井町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	2	平成30年度大井町一般会計補正予算(第6号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	3	平成30年度大井町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	4	平成30年度大井町下水道事業特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	5	平成30年度大井町介護保険特別会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	6	平成30年度大井町水道事業会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第1回定例会	8	大井町議会委員会条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	9	大井町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	可決
	10	大井町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	可決
	11	大井町水道事業の布設工事監督者及び水道技術管理者の資格等に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	12	大井町道の路線の廃止及び認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	13	平成30年度大井町一般会計補正予算(第7号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	14	平成30年度大井町国民健康保険特別会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	15	平成30年度大井町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	16	平成30年度大井町下水道事業特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	17	平成30年度大井町介護保険特別会計補正予算(第5号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	18	平成30年度大井町水道事業会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	19	大井町固定資産評価審査委員会委員の選任について同意を求めること	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	可決
	20	平成31年度大井町一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	可決
	21	平成31年度大井町国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	可決
	22	平成31年度大井町後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	可決
	23	平成31年度大井町下水道事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	24	平成31年度大井町介護保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	可決
	25	平成31年度大井町水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	26	平成30年度大井町一般会計補正予算(第8号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	27	工事請負契約の締結について (大井小学校北棟空調設備設置工事)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	28	工事請負契約の締結について (町立幼稚園・相和小学校空調設備設置工事)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

地域経営者として町長はどうあるべきか

答 住民満足度の向上のため、健全で効率的に経営

清水 豊司 議員



問 自治の地域経営的意義についての意識が高まりつつある中で、地域経営者として町長はどうあるべきか。

町長 地域が直面する課題を行政組織の町のみで解決することは困難になってきている。そこで、自治会など住民組織や関係団体、民間企業などの



小田町長に将来を託された大井町

参画を図り、地域に存在するあらゆる資源を活用し、近隣自治体との連携を含めた中で創意工夫によって課題解決に取り組み画一的な行政運営にはとられない地域経営が必要と考える。町として最大の目的である住民満足度の向上のために、健全かつ効率的に経営するという地域経営の考えを持ち、生活現場である地域のことを知っている町民の声を傾けながら町政運営をしていく事と認識している。

問 地方分権が進む中、政策立案をどのように考えるか。

町長 地方自治体が地域行政を主体的に担っていることに伴い、その地方自治体独自の施策目標を企画・立案し、それを遂行するための政策立案能力の向上が重要になってくる。そのために地域と対話を重ね、地域住民のニーズや課題をくみあげ、そのニーズや課題を踏まえた施策を企画・立案し、粘り強く実現に向けて努力する事が大事である。

しかし、業務の増大と職員減少の状況下で職員が政策立案能力を高めていく事は簡単ではないが、働き方改革の視点からも組織や事業の見直し、ICTの活用も視野に入れた政策立案能力の向上の対策を講じていく。

大井よさこいひょうたん祭の開催は

答 新たな実行委員会を組織し

開催する



清水 亜樹 議員

問 大井よさこいひょうたん祭の今後の運営体制は。

よりいつそう町民の皆さまに楽しんで頂けるよう努めて行きたい。

町長の施策について

問 子育てカフェレストランとは。

町長 子育て世代の交流の拠点として考えている。公設民営などさまざまなことを想定し、設置へ向けて検討していきたい。

問 子育て支援として、幼稚園年少児への給食提供をする考えは。

町長 子育て中のお母さん方からの要望を確認した中で、実現に向けた方策を考えていきたい。

問 福祉避難所の設置を図るとあるが、今までの考え方との違いは。

町長 これまでの方針、計画に基づく町の考え方と大きく変えることはない。

問 障がい者の就労支援について、優先調達等、積極的に取組んで頂きたいが考えは。

町長 働きたいという意思がある以上、就労の場を行政として支援していきたい。

問 よさこい踊りには、自治会等の町民主体の団体参加が少ない状況だが。

町長 地域の声を取り入れながら、開催方法等を検討できる組織を構築し、



参加が少なくなってきた地域のチーム

町長の所信表明について

答 新たな価値をともに創り出し、官民が協力して働く共創協働を進めたい

田村 俊二 議員



問 協働推進室の設置は、迅速に取り組むのではなく、機構改革の必要性を加味しながら、職員とともに慎重、丁寧な議論を重ね、31年度末までに結果を示したい。

町長 31年度内早い時期に実施したい。自治会担当職員は、2名以上の複

数とし、自治会規模により複数自治会を担当するなど配置人数を関係各課と調整したい。

問 全事業の見直しは、効率的な財政運営を目指している。見直しに際しては、行政評価の評価者に外部委員を採用し、評価の透明性を確保することなどを考えている。今後方向性を定めていきたい。

町長 パークゴルフ場整備の考えは。

町長 整備費や維持管理コストに膨大な公費の投入など財政負担が懸念さ



ともに町の未来創造を

れることから前町長は断念する考えを示した。現時点では妥当と考えている。

問 高齢者、健康施策の見地から他町パークゴルフ場利用者への支援策は、全町民の健康施策の観点から仕組みづくりを検討したい。

町長 高年齢者、健康施策の見地から他町パークゴルフ場利用者への支援策は、全町民の健康施策の観点から仕組みづくりを検討したい。

【福祉バスの将来像】

問 福祉バスの課題と今後の方向は。

町長 便利で効率的な地域交通ネットワークの構築に寄与する「コミュニティバス」の導入を32年度中に判断したい。

新年度予算に町長の想いは反映できたか

答 私の納得できる予算案が出来た

牧野 一仁 議員



問 選挙公約の主要施策実行と新年度予算との関係について問う。

町長 予算の確定まで限られた日程で最終的な調整や取りまとめを行った。ある程度の枠組みが定まっていたが、私の納得できる予算案が出来た。新年度予算案は、法人町民税の減少と町債の増加が目立っており、事業の継続性などからある程度はやむを得ないと思うが、財源不足の懸念がある以上、町の将来を見据えた事業の見直しが必要であると考えている。



地域が育てた元気な大井っ子

問 生きがいと健康がふれるお年寄りにも優しいまちとは何か。

町長 障がい者や高齢者を含めた多様な町民が、ともに集えるような場所と仕組みが必要と考える。公園の整備や認知症カフェなどを開催し、高齢者が住みなれた地域で自分らしく住み続けていくための支援をする。

問 地域が育てた元気な大井っ子の町とは何か。

町長 新年度は保育園の土曜保育の時間延長、小児医療費を18歳まで助成、世界に目を向けた子どもたちを育てるために、例えば海外との姉妹都市提携で留学制度なども考えたい。また、校庭・園庭の芝生化などもぜひ実現したいと思っている。

問 もつたいない、埋もれた地域資源に光が当たる町とは何か。

町長 相和地区の売れる交流体験事業を構築。有害鳥獣肉処理施設を近隣市町との連携で開設したいと考えている。

マイタイムラインの導入は

答 試行、検証結果を踏まえ
取り組む

伊藤 奈穂子 議員



問 町民一人ひとりが災害時にどう行動すればいいのかを時系列にまとめ、事前にシミュレーションすることにより逃げ遅れゼロを目指すマイタイムラインの導入は。

町長 現在県下で行われている試行、モデル検証の結果を踏まえ取り組んでいく。

問 住民が主体となって作成する地区防災計画の推進は。

町長 各自主防災組織等に対し、防災への取り組みなど一層の充実を図っていく。その延長として地区防災計画作成へ繋がっていかねばと考える。

問 児童生徒への防災教育としてハザードマップの活用は。

町長 上大井小学校では風水害を想定した避難訓練の際にハザードマップの利用を予定している。

問 まるごとまちごとハザードマップを整備する考えは。

防災安全室長 電柱についている看板は、平成32年に更新する際、矢印等新たに必要の様式を検討し対応する。



平成32年更新予定の看板

問 学校等の広域避難所の標識を更新する考えは。

防災安全室長 今後、災害別警戒区域等の指定を受けすべての状況がわかり次第、調査をしてから更新する。

問 町防災備蓄品として液体ミルクの整備は。

防災安全室長 保存期間と有効活用等、備蓄体制を考え検討していきたい。

【風疹対策について】

問 風疹の定期接種実施に向け今後のスケジュールは。

子育て健康課長 適宜準備を進め、補正にて対応する。

町内の歩道・自転車道の整備は

答 交通弱者の方々が安心して
通行できるよう検討していく

神保 京子 議員



問 現在の町内歩道は段差があつて、ベビーカーやシルバーカー利用者や足の悪い方や目の不自由な方には危険なものが多いためフラットな歩道に改善・整備の考えは。

町長 バリアフリー法が施行される前に整備された基準外の個所は、改良工事などの機会に合わせて順次解消している。道路幅員が狭いものは用地確保や補償費などの予算が必要で、計画的に進められない状況であるが交通弱者の方々が安心して通行できるよう検討していく。



危険 段差のある用水路

問 自転車道や路側帯のない道路や白線が消えている道路を整備する考えは。

町長 現在、都市計画道路町道9号線は、自転車歩行者道を整備する計画。現状では新たに整備する予定はない。

都市整備課長 白線の改修や引き直しは、都市整備課のほうで現地確認の上対応している。

【町職員の勤務体制について】

問 休日出勤した場合の対策と勤務時間内の喫煙については。

町長 休日は代休や時間外手当等に対応している。喫煙は、午前一回午後一回なるべく短時間で済ませるように呼びかけている。

問 喫煙室に長時間いる職員を目にする。喫煙する人とならない人との差をどう考えるか。

総務安全課長 人事評価制度の中では喫煙により離席が目立つと評価された場合には、その職員の評価が下がるなど、処遇に反映される。

総合計画は策定するか、その期間は

答 あまり長いと時代にそぐわない

石井 勲 議員



問 総合計画は策定するのか、その期間は。33年度までの準備作業工程は、
町長 あまり長期でも、8年位かなと現実的には思っている、長いと時代にそぐわないことも想定される。

問 総合計画は策定するにあたり町民の意見集約や審議会での作業手順、また議会への説明時期は。
町長 31年6月までにプロポーザルで業者選定し、9月迄の間に住民・職員へのアンケートを実施。庁内各課にヒアリングし、町民とのワークショップを年度内に5回ほど開催を想定、そして総合計画審議会に諮る、議会にも随時報告する。年度末に第6次総合計画の素案をまとめ、32年度、素案について庁内各課や総合計画審議会の諮問を経て、



みらいづくり、この子らの将来に責任を

議会に上程を考えている。しかし、総合計画は、一般に町民が参加し、意見が言える機会が限られていると感じるし、職員も限られた人数になり全体として総合計画への理解が十分ではなく計画を活用しきれず終わる自治体も多くあると感じている。町づくりは、町民や職員が主体性と創造力を持って携わることが必要であり、より多くの町民や職員を巻き込んで策定に当たりたいと考えている。
問 業者委託にあたり仕様書は作成したか。
企画財政課長 予算見積り時に必要な仕様書は作成した。業者選定時には詳細に仕様書を作成する。

早急にハラスメント対策室の設置を

答 総務安全課か神奈川県公平委員会へ相談することになる

熊田 和人 議員



問 今日の社会は多様性が増し、いろいろな考え方がありひと昔前の行為が、今では犯罪になってしまふということもある。職員の中には隠れたハラスメントがあるのかもしれない。特に持っている者はそのつもりが無いと思っけていても、相手のとらえ方によつてはハラスメントになってしまうこともある。ハラスメント対策室の設置の考えは。
町長 今のところハラスメントによる職員の問題等の事案は承知していない。しかし隠れたハラスメントがある可能性もある。



ハラスメント対策は大丈夫？

【町長の選挙公約について】
問 公約では防災のまちづくりのために、各自治会に専門職員を配置するとあったが、同種質問をした答弁を聞くと防災だけではなく、自治会の問題を相談できるような職員となっているがどういうことか。
町長 当初は防災のことが気になっていた。しかし選挙活動のなか、「何も防災に限らず何でも相談できる職員でもいいのでは」と町民から意見を頂き、自治会活動を円滑にして協働のまちづくりを進めたい気持ちになった。

● 町のこの人あの人 ●

陶芸の魅力、楽しさを

ふれあいを大切に



西大井地区
谷 美恵子 さん

「きらめき未来塾陶芸（たたら）を体験しよう！」の講師として活動をしている谷美恵子さんを紹介する。

▼陶芸との出会い

土との出会いは、30数年前。本格的には、1998年、京都造形芸術大学の通信教育部で陶芸コースが出来たことを新聞で知り一期生で入学。卒業してからは、卒業生と作品展を開催したり、当時の先生のもと研究会を定期的に開催している。通信大学は、職業、年齢

性別を超え全国から集まるのでスクーリング（対面授業）では、言葉や文化の格差など、戸惑いながらも得るものがたくさんあったと語る。

▼現在の活動は

91才の母の介護の傍ら、時間があれば工房に足が向く。作りたいものを、試したいものがたくさんあるんですよと語る。



窯入れの様子（きらめき未来塾での作品）

いる。限られた時間と諸々の制限があるが皆さんの目の輝きが違ってくるという。最初は「私は不器用だから…」なんて言っていたんですが「焼きあがるとどんな？」「窯出しはいっつ？」と会話が前向きになるんですよと語る。一方で朝の通学時に子どもたちの見守りをしている。「おはよう」「行つてらっしゃい」の声掛けは、逆に子どもたちの「行つてきます」の笑顔に癒されま

す。自分の孫たちも住んでいる地域の方たちに見守られて登校しているのにお互い様だと語る。

また、月1回防犯パトロールにも参加する

▼陶芸の魅力

陶芸を体験するには窯のある施設を利用するしかなく、なかなか面倒で諦めがちです。そのような人たちに少しでも陶芸の魅力、楽しさを知ってもらおうお手伝いが出来たら…。加えて、現代の児童生徒たちにも土に触れる体験をして欲しい。制作を通して時間の大切さ、上手いかな、悔しさや出来上がったときの感動を味わって欲しい。そんな中から思いやりや協調性が生まれてくるのではと語る。

町政を知る良い機会です

議会傍聴にお越しく下さい

6月5日(水)午前9時 第2回定例会開催

問合せ先：議会事務局 ☎85-5000 FAX85-3936

編集後記

昨年末に行われた町長選挙、補欠選挙後、初めての定例会でした。一般質問は、小田新町長への所信表明に関する質問が多くなされ、大井町の未来を託す町長の考え、方向の一端を確認することができました。

また、厳しい財政状況のなか町民にとつて真に必要な施策なのかどうか「予算審査特別委員会」を設置し、慎重な審査を行いました。

今後も「議会だより」を通して町民の皆様へ議会活動状況を分かりやすく発信してまいります。

田村 俊二

広報常任委員会
委員長 伊藤奈穂子
副委員長 田村 俊二
委員 石井 勲
委員 瀬戸 和雄
委員 曾根田 徹
委員 清水 亜樹
委員 牧野 一仁